

薬理学とは、薬の体への作用と体の薬への作用を解明する学門です。薬を用いて病気の原因をつきとめたり、薬の有害作用の発症メカニズムを解明するためにも重要な領域です。私達は、電気生理学や分子生物学、コンピュータモデルなど、いろいろな手法を用いて、細胞、実験動物、ヒトのボランティアを対象に研究を行っています。漢方薬の薬理作用にも興味を持っています。

staff スタッフ紹介



教授 木村 純子

昭和52年 福島県立医科大学卒業
昭和57年 英国オックスフォード大学
大学院（生理学）修了

教育専門分野
薬理学

研究分野

- 1) Na/Ca交換機構
- 2) 横紋筋の薬理学
- 3) イオンチャネルの薬理学
- 4) トランスポーターの薬理学

講座・部門の主な研究内容

1. スタチンによる横紋筋融解症の発症メカニズム
2. 骨髄異形成症候群の発症メカニズムの解明
3. Na/Ca交換機構に対する薬物の作用について
4. イオンチャネルに対する漢方薬の作用について
5. トランスポーターを介した薬物相互作用について
6. 尿管トランスポーター、受容体応答と血圧調節

研修医、臨床医入学時の研究分野

1. Na/Ca交換機構の発現機序
2. 骨髄異形成症候群について
3. 骨格筋に対する薬物の作用について
4. 漢方薬のイオンチャネルに対する作用
5. 薬物相互作用について
6. 腎尿管の血圧調節への関与について

講座・部門からのメッセージ

高脂血症治療薬のスタチンは、多くの服用者がいますが、横紋筋融解症という、骨格筋に対する有害作用があります。でも、その成因はわかっていません。現在、その解明を目標に興味深い研究を行っています。

骨髄異形成症候群の成因についても、mRNA安定性制御の観点から、新たな展開が期待できそうです。国内外の学会発表も積極的に行っています。興味のある方は、是非、一度見学において下さい。